



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹野 幸明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦 TEL 06-6416-1184
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年6月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,055	54.9	741	—	759	—	460	—
2019年9月期第2四半期	3,263	9.9	△186	—	△149	—	△148	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 363百万円 (—%) 2019年9月期第2四半期 △217百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	201.60	—
2019年9月期第2四半期	△65.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	12,092	8,608	71.2
2019年9月期	11,702	8,293	70.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 8,608百万円 2019年9月期 8,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2020年9月期	—	20.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	9.2	800	53.6	840	45.6	610	△14.6	267.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	2,678,600株	2019年9月期	2,678,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	389,218株	2019年9月期	394,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	2,286,275株	2019年9月期2Q	2,277,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)におけるわが国経済は、中国経済や英国のEU離脱の行方など、海外経済の不確実性からくる影響に留意しつつも、企業業績と雇用環境の改善傾向を背景に、緩やかな回復基調の中で推移しておりました。しかしここに来て、新型コロナウイルス感染症の影響で様相は一転し、内外経済の下振れリスクに十分な注意が必要な状況となっております。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造・メンテナンスを主としたバルブ事業を中核に、鋳鋼製品の製造事業と福島地区での復興・除染事業を展開しております。

東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、バルブ事業の主要顧客である原子力発電所(以下、「原発」)向けビジネスが極めて厳しい状況にあります。さらに、地球温暖化問題から、石炭火力発電所にも不確実性が高まりつつあり、将来のマーケット動向の見極めに大変苦慮しているところです。

このような中、当第2四半期連結累計期間におきましては、関西電力大飯原発4号機、高浜原発4号機、九州電力玄海原発4号機、同川内原発1・2号機で定期検査工事が完了し売上計上したほか、関西電力美浜原発、四国電力伊方原発などでその他の設備工事売上を計上するなど、原発関連売上を中心に、全体の売上高は50億55百万円(前年同期比54.9%増)となりました。

採算面では、売上高の伸長と、比較的採算性に優れる原発案件にけん引され、営業利益は7億41百万円(前年同期は1億86百万円の赤字)、経常利益は7億59百万円(同1億49百万円の赤字)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億60百万円(同1億48百万円の赤字)と、第1四半期連結累計期間に続き、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

報告セグメント別の状況ですが、バルブ事業については、売上高は40億33百万円(前年同期比59.3%増)で、そのうち原発関連売上高が7割弱を占めたことを要因に、セグメント利益は11億34百万円(同345.8%増)となりました。

ほか、製鋼事業の売上高は6億51百万円(前年同期比34.2%増)、セグメント利益は40百万円の赤字(前年同期は84百万円の赤字)、除染事業の売上高は3億63百万円(前年同期比44.9%増)、セグメント利益は41百万円(前年同期は28百万円の赤字)となりました。

第1四半期連結累計期間の2019年10月1日に、廃炉関連事業への本格参入を目指し、TVEリファインメタル株式会社を子会社として設立しました。現時点では、情報収集を中心に活動しており、同社の業績は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」に含めており、当第2四半期連結累計期間では売上高9百万円、セグメント利益15百万円の赤字となりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ(新製弁)	911	1,116	22.5
	バルブ用取替補修部品	334	625	87.1
	原子力発電所定期検査工事	396	1,005	153.4
	その他メンテナンス等の役務提供	889	1,285	44.5
	小計	2,532	4,033	59.3
製鋼事業	鋳鋼製品	485	651	34.2
除染事業	地域除染等	250	363	44.9
その他	リファインメタル事業	—	9	—
消去又は全社		△5	△3	—
	合計	3,263	5,055	54.9

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は120億92百万円で、前連結会計年度末に比して3億90百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が2億24百万円、仕掛品が1億96百万円それぞれ増加したことによるものです。なお、現金及び預金が8億9百万円減少しておりますが、一部当座の余剰資金を短期運用により有価証券が増加しております。

負債残高は34億84百万円で、前連結会計年度末に比して75百万円増加しました。これは主に未払法人税等の増加したことによるものであります。

純資産の残高は86億8百万円で、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比して3億15百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は34億20百万円となり、前連結会計年度末に比して90百万円増加しました。

各分類別のキャッシュ・フローの状況では、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益7億59百万円にキャッシュ・アウトを伴わない減価償却費1億47百万円のキャッシュ・イン要因の他、売上債権の増加額2億24百万円、たな卸資産の増加額1億85百万円などにより3億45百万円のキャッシュ・イン（前年同期は7億14百万円のキャッシュ・イン）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産などの設備維持投資を中心に1億31百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は4億59百万円のキャッシュ・アウト）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に係る期末配当、長期借入金の返済などにより1億21百万円のキャッシュ・アウト（前年同期は1億34百万円のキャッシュ・イン）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2019年11月8日に、「2019年9月期 決算短信」で公表した通期連結業績予想の売上高90億円、営業利益8億円、経常利益8億40百万円に対し、売上高は56%、営業利益、経常利益については90%以上の進捗となっておりますが、利益については、原発定期検査の上半期集中を要因にかなり先行している状況から、今後、電力需要が最も高まる夏季のマイナス調整を経て、業績予想に近いレンジに落ち着いていくものと考えております。

しかし、本年1月の四国電力伊方原発3号機運転差し止め仮処分決定、新たな受注損失引当金計上の可能性に加え、新型コロナウイルスの影響など、依然、いくつかの不確定要素を含んでおります。

特に、新型コロナウイルスの感染拡大による業績影響については、主にメンテナンス工事において、影響が出てくるものと想定されます。

事業の性質上、工事そのものが無くなるということはほぼありませんが、工期が変更されることで売上が来期に時期ずれする、或いは、一部の顧客において、感染拡大阻止のため工事現場への入場に規制・制約が設けられつつあって、これにより工事効率が低下し採算性が悪化するなどで業績にマイナス影響が出る可能性があります。

既にこのような状況が生じつつありますが、未だその影響を正確に把握することは困難なことから、現段階においては当初の予想を維持し修正等を行いません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,330,102	2,520,212
受取手形及び売掛金	3,220,959	3,445,221
有価証券	—	900,000
商品及び製品	175,556	197,966
仕掛品	1,474,023	1,670,547
原材料及び貯蔵品	560,545	527,264
その他	79,386	97,039
流動資産合計	8,840,572	9,358,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	486,355	474,018
機械装置及び運搬具(純額)	442,349	418,713
土地	261,363	261,363
その他(純額)	151,528	140,834
有形固定資産合計	1,341,596	1,294,928
無形固定資産	269,004	263,780
投資その他の資産		
投資有価証券	934,062	793,606
繰延税金資産	255,989	244,396
その他	71,770	148,624
貸倒引当金	△10,724	△10,724
投資その他の資産合計	1,251,097	1,175,902
固定資産合計	2,861,697	2,734,611
資産合計	11,702,270	12,092,862
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825,976	919,678
1年内返済予定の長期借入金	72,762	60,000
未払法人税等	172,148	269,620
賞与引当金	336,302	271,730
役員賞与引当金	39,799	—
受注損失引当金	451,605	513,921
その他	453,932	451,190
流動負債合計	2,352,526	2,486,140
固定負債		
長期借入金	210,000	180,000
P C B 処理引当金	2,838	2,838
退職給付に係る負債	726,704	707,555
その他	116,895	107,664
固定負債合計	1,056,438	998,057
負債合計	3,408,965	3,484,198

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,012,806	2,012,570
利益剰余金	5,019,994	5,423,804
自己株式	△655,665	△646,596
株主資本合計	8,116,695	8,529,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,867	95,211
為替換算調整勘定	1,980	△988
退職給付に係る調整累計額	△19,498	△15,261
その他の包括利益累計額合計	176,349	78,961
非支配株主持分	261	364
純資産合計	8,293,305	8,608,664
負債純資産合計	11,702,270	12,092,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,263,781	5,055,088
売上原価	2,752,851	3,476,119
売上総利益	510,929	1,578,968
販売費及び一般管理費	697,110	837,952
営業利益又は営業損失(△)	△186,181	741,016
営業外収益		
受取利息	99	181
受取配当金	10,805	18,775
受取保険金	15,495	—
作業くず売却益	4,781	671
雑収入	7,931	9,197
営業外収益合計	39,114	28,825
営業外費用		
支払利息	591	1,356
為替差損	968	4,776
リース解約損	—	3,543
支払手数料	498	504
雑損失	69	181
営業外費用合計	2,128	10,362
経常利益又は経常損失(△)	△149,195	759,479
特別利益		
固定資産売却益	39	—
特別利益合計	39	—
特別損失		
固定資産処分損	527	82
投資有価証券評価損	—	346
特別損失合計	527	428
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149,682	759,051
法人税、住民税及び事業税	7,311	244,993
法人税等調整額	△8,811	53,046
法人税等合計	△1,499	298,040
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,183	461,011
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	103
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△148,146	460,907

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,183	461,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,238	△98,656
為替換算調整勘定	△4,264	△2,968
退職給付に係る調整額	5,085	4,236
その他の包括利益合計	△69,417	△97,387
四半期包括利益	△217,600	363,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,564	363,520
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149,682	759,051
減価償却費	141,128	147,113
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104,081	△64,572
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,438	△39,799
受注損失引当金の増減額(△は減少)	102,368	62,316
P C B 処理引当金の増減額(△は減少)	△14,050	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,602	△14,912
受取利息及び受取配当金	△10,905	△18,956
受取保険金	△15,495	—
支払利息	591	1,356
固定資産売却損益(△は益)	△39	—
固定資産処分損益(△は益)	527	82
投資有価証券評価損益(△は益)	—	346
売上債権の増減額(△は増加)	1,188,598	△224,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△366,987	△185,652
仕入債務の増減額(△は減少)	169,113	93,701
未払消費税等の増減額(△は減少)	△70,833	106,106
その他	△86,793	△143,955
小計	744,622	477,964
利息及び配当金の受取額	10,891	18,956
利息の支払額	△704	△1,329
保険金の受取額	15,495	—
法人税等の支払額	△55,585	△149,653
法人税等の還付額	42	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	714,762	345,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△360,118	—
有形固定資産の取得による支出	△80,314	△109,628
有形固定資産の売却による収入	43	—
有形固定資産の除却による支出	△159	—
無形固定資産の取得による支出	△19,415	△19,226
長期貸付金の回収による収入	58	59
その他	142	△2,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,764	△131,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40,404	△42,762
長期借入れによる収入	300,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△70,233	—
リース債務の返済による支出	△8,681	△21,394
自己株式の取得による支出	△186	△69
配当金の支払額	△45,689	△57,015
その他	△498	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,306	△121,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,272	△2,827
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	385,032	90,110
現金及び現金同等物の期首残高	2,717,959	3,330,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,102,992	3,420,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、TVEリファインメタル株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,527,278	485,747	250,755	3,263,781	—	3,263,781	—	3,263,781
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,376	—	—	5,376	—	5,376	△5,376	—
計	2,532,654	485,747	250,755	3,269,157	—	3,269,157	△5,376	3,263,781
セグメント利益又は損失(△)	254,388	△84,728	△28,753	140,906	—	140,906	△327,087	△186,181

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リファインメタル事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,087千円には、セグメント間取引消去1,813千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,901千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,031,854	651,676	363,363	5,046,894	8,194	5,055,088	—	5,055,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,450	—	—	1,450	1,800	3,250	△3,250	—
計	4,033,304	651,676	363,363	5,048,344	9,994	5,058,338	△3,250	5,055,088
セグメント利益又は損失(△)	1,134,041	△40,956	41,289	1,134,374	△15,815	1,118,558	△377,541	741,016

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リファインメタル事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△377,541千円には、セグメント間取引消去2,249千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△379,791千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、クリアランス金属のリサイクルを主としたリファインメタル事業を行う目的として子会社であるTVEリファインメタル株式会社を設立し、事業を開始しております。

これに伴い、当該事業を報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。